當山　達彦　議員

が、その後の進捗状況について伺います。

答　企画課長　山城雅人

谷茶村営団地の代替地及びその周辺の整備につきましては、OIST周辺整備の一環として国道事務所の前向きな御返事をいただき、来年度には国道残土の搬入を予定している。

質　大学院大学を建設するに当たって、そこへ希少動物が移動されたと思われますが既にどこかに移動されたのか。

答　企画課長　山城雅人

OISTのほうから重要保護の種類として移動したという話を伺っております。伐採前に希少動物の調査をして、出てきたときにはまた移動する国道事務所の計画です。

質　この3年間、いろんな調査があったと思われます。教育委員会の文化財等の調査は既に完了したと認識してよろしいですか。

答　企画課長　山城雅人

教育委員会のほうで残すべき資料なり、しっかり記録して調査が終わっております。

質　地域と地権者に対して、今後の計画に対する説明会などを予定しているのか伺います。

答　企画課長　山城雅人

区と地権者への説明につきましては、今後早い時期に説明会の開催を実施していく予定です。今後の活用のあり方について地権者の考えが最も重要だと考えております。

質　地域の活性化を図るために住宅地域の確保は恩納村を担うべき若者の定住化対策、または少子化対策の一環であると思われますが、今後はどう取り組んでいくのか。

答　企画課長　山城雅人

その後の活用について沖縄県科学技術振興課といろいろ話している中で、提案として民間事業の活用、またPPP事業の活用、いろいろ話はあります。村は、OIST周辺の整備をあわせた、定住促進の施策として、主体的に村が取り組んでいくことも考えています。

質　村では恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略を進めているが、宅地造成はぜひ必要だと思われますが、村長はどう取り組んでいくのかお伺いします。

谷茶村営団地代替地整備について

質　谷茶村営団地代替地整備で地主と土地の交換をいたしました

答　村長　長浜善巳

村営団地の代替地整備は、定住化促進できればというふうに考えております。

谷茶区からの陳情書について

質　平成29年12月の本会議において法的、議論的にもその根拠が認められ、全議員の賛成で採択された谷茶区からの陳情について、これまでの経緯状況を伺います。

答　総務課長　新里勝弘

陳情につきましては、入会権の観点から軍用地料の分収金と同等の扱いとし、特別交付金を検討してほしいという趣旨だと理解しております。十分にその根拠はあると判断されていることは、こちらも重く受けとめ、地域の皆さん、議員の皆さんが納得できる形で協議を重ね、地元と議会と調整していきたいと考えています。

要　今後は村当局の、誠意ある回答を望みます。

大城　堅三　議員

漁港整備について

質　瀬良垣漁港で海ブドウ施設が整備され、臨海実験施設の取水事業に絡めた水産物の品種改良、生産向上への取り組みで期待している施設です。事業展開は。

答　農林水産課長　佐渡山安正

臨海実験施設の共同使用の基本的事項で、今年6月6日、村、漁協、OISTで新たな覚書を締結し、村の自然環境の保全や育成、地域支援を生かした恩納ブランドの確立に向け、さらに発展的な形で3者連携して取り組んでいこうということです。

質　恩納漁港のサンゴ再生施設で、サンゴの産卵が去年に続き今回も見られた。観光に特化した事業に結びつけ、取水事業に絡めた連携事業を検討してはどうか。

答　農林水産課長　佐渡山安正

村が行うサンゴの村宣言に関連し、3者においては、海洋生物やサンゴ、海ブドウ等の地域資源に関する研究で、それぞれが持つ知見を共有することで事業発展に寄与し、新たな品種改良といった事にも連携し取り組んでいけると思っております。

基地対策及び基地関連予算について

質　安富祖ダム工事現場で発生した流弾事件、地域住民を初め村民にも不安を与え、再発防止への取り組み、協定上の運営の問題とか立ち入り調査の後、安富祖区への報告が行われたか。

答　企画課長　山城雅人

米軍の分析により、金武町内レンジ190の着弾地からの跳弾の可能性が高いことから、目標着弾地のダム方向表示板を内側へ狭め、ダム方向への射撃訓練を自粛する対策の説明で再発防止の詳細は確認できたと考えます。今後の説明は地元、沖縄防衛局と調整し対応と考えている。

質　立ち入り後の村長の見解を。

答　村長　長浜善巳

着弾地からの跳弾の可能性が高い報告を受け、安富祖ダム工事は続いてまいりますので、引き続き注意し安富祖区とは連携しやってまいりたい。

質　基地負担に対し、これまでの関連予算の措置どのようにお考えか。

答　村長　長浜善巳

防衛施設周辺の生活環境整備等に3条、8条、9条の交付金を活用し、民生安定また周辺整備に有効的に使われていると思っております。引き続き、防衛局と調整をし村の環境を整えてまいりたい。

質　基地対策関係施設、基地関係交付金と共存の行政運営を行っていく中で、要請や予算折衝、首長としてその方向性、取り組みは。

答　村長　長浜善巳

キャンプ・ハンセンという1つの米軍施設の中に位置しており、3町村、金武、宜野座、恩納、一緒に取り組まなければと考え、同一行動を行っている再編交付金、今後の基地のあり方など、三連協で要請、また抗議行動などを今後もやってまいりたい。

質　レンジ9での米軍と自衛隊の不発弾等の処理、共同訓練は今後も続く。しかし、時限立法による交付金は終了ということですが、共同使用は継続される中で、地域への影響も実態調査し実情も訴え、要請を検討しては。

答　村長　長浜善巳

再編交付金は終了したのですが、レンジ9の爆破訓練などをやっている。三連協でも、被害を被っていることは常々言っている。今後も瀬良垣の爆破訓練とかも含めて、引き続き連携して防衛局に要請してまいりたい。